

2030年に向けたビジョン

「2030年に向けたビジョン」について

～さらに高く さらに広く
人と自然を大切にし、未来づくりに貢献する
ヒューマン・コンストラクターへ～

奥村組グループは、事業を通じて社会に貢献することを使命としています。戦後復興の気運が高まる中での通天閣の再建、阪神・淡路大震災直後にわずか74日間で工事を完遂したJR六甲道駅の復旧、環境に優しく安全に短期間でトンネルを施工できる日本初の泥水式シールド工法の開発、地震から建物とその中の人や物を守る日本初の実用免震ビルの建設など、1907年の創業以来、私たちは技術の研鑽を積み重ね、人々の快適で安全・安心な暮らしと、美しい自然との両立を目指していく中で、次の3つの強みを培ってきました。

1. 100年を超える実績と独自の技術力
2. 「堅実・誠実」のDNAを受け継ぐ人材力
3. 社会のニーズの変化に柔軟に対応する提案力

ウクライナ情勢や新型コロナウイルス感染症の拡大、地球温暖化、激甚化する自然災害、エネルギー問題、食料問題など、さまざまな社会問題が顕在化している中、私たちはこれまでに培った強みで新たな価値を創造していきます。

奥村組グループのシンボルマークは「人」を象徴したものです。これは“人と自然を大切にし、未来づくりに貢献するヒューマン・コンストラクター”を目指すという、私たちのこころを表現しています。これまでよりもさらに高い視座と広い視野をもち、より多くの人とともに明るい未来を築くため、多様な視点から2019年に策定した「2030年に向けたビジョン」の実現に向けて、そこへたどりつくための「地道」というただひとつの道を、私たちは一步一步、確実に前進していきます。

2030年に向けたビジョン

企業価値の向上に努め、業界内でのポジションを高める

持続的な成長に向け事業領域を拡大し、強固な収益基盤を築く

人を活かし、人を大切にする、社員が誇れる企業へ

私たちの思い

私たち奥村組グループは、社会の持続的な発展に貢献するために社会のニーズの変化を見据えて事業・サービスを展開するとともに確かな技術と誠実な事業運営により、社会の信頼に応え、安心を提供し関係する全ての人とともに豊かさを分かち合い成長し続ける企業グループでありたいと考えます。